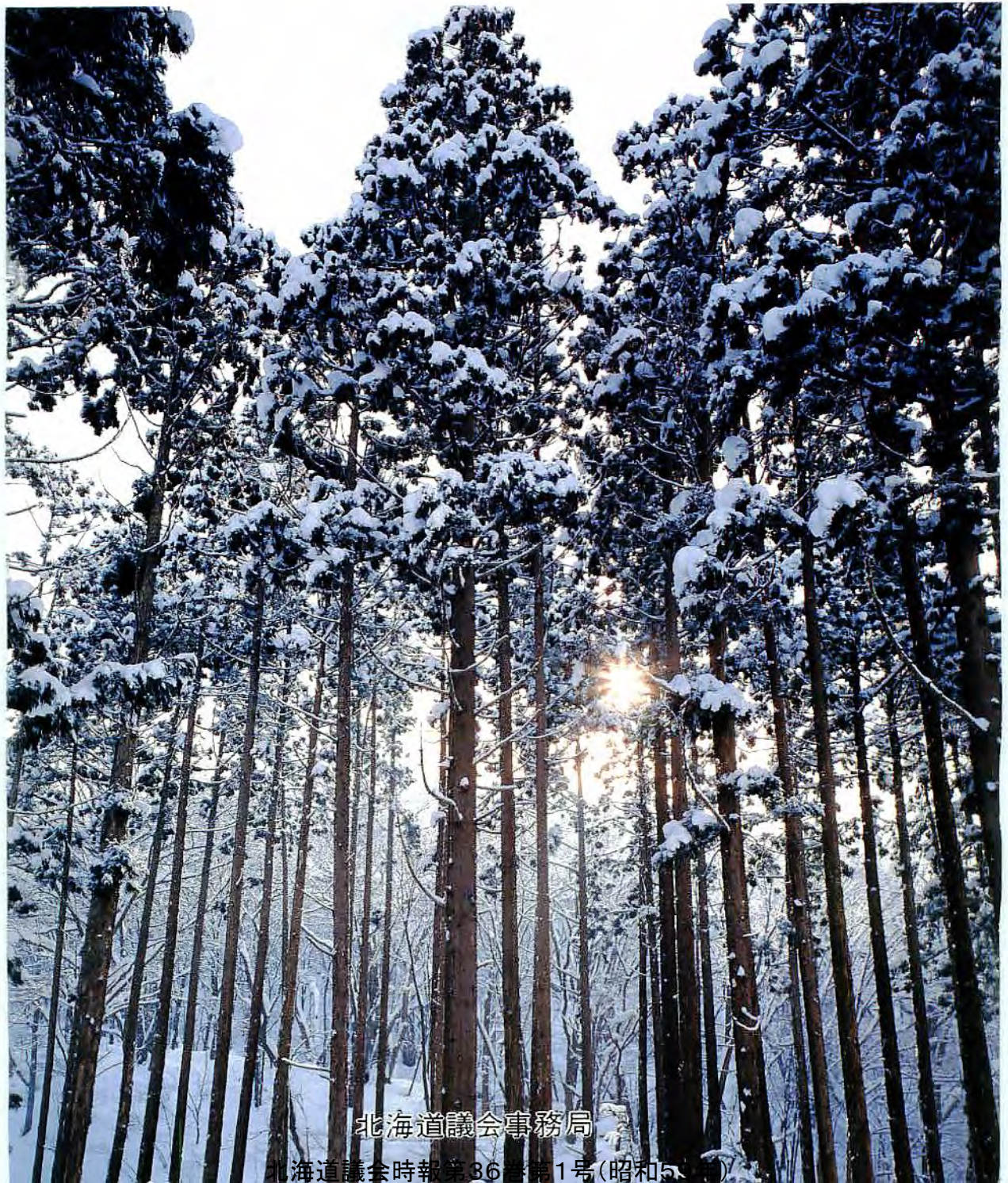


北海道議会時報

昭和59年第1号



北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第1号(昭和59年)

(表紙写真説明)

冬の円山公園内

……第1号もくじ……

委員会 の 動き

議会運営委員会	1
常任委員会	2
特別委員会	5
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
冷害対策特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	7
都道府県議会議員共済会	7
10都道府県議会議長会	7

資 料

提出案件の処理状況	8
議員提出案件の件名及び処理結果一覧	9
請願・陳情の件名及び処理経過一覧	11

1・2月のメモ

議 会 日 誌



▶ 1 月

- 12日（木） 各常任、石炭対策特別、北方領土
対策特別各委員会
- 13日（金） 決算特別委員会

▶ 2 月

- 6日（月） 総務、厚生、商工労働、農務、建
設、文教林務、総合開発調査特別、
公害対策特別、冷害対策特別各委
員会
- 17日（金） 議会運営、決算特別各委員会

委員会の動き

議会運営委員会

○2月17日（金） 午後1時25分、議会運営委員会室において開議、午後1時30分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、元道議会議員太田益夫氏（釧路市選出、第13期～17期在職）の逝去（1月28日）について報告。
- ② 第1回定例会の招集期日を2月24日とすることを異議なく了承。会期は33日間とすることに決定。
- ③ 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 第1回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第1回定例会日程

2月24日	本会議（道政執行方針、提案説明、教育行政執行方針）
2月25日～3月1日	休会
3月2日・3日	本会議（代表質問）
4日・5日	休会
6日～9日	本会議（一般質問）
10日	本会議（一般質問、予算特別委員会設置）
11日・12日	休会
13日	本会議（補正予算先議）
14日～26日	休会
27日	本会議

- ⑤ 代表質問について、順位は自民、社会、道政、公明の順とすることを了承。
- ⑥ 石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙について、同企業団議会議長から議長に対し、道議会選出の笠島議員の辞職に伴い欠員を生じたので補欠選任願いたい旨通知があっ

たことを報告。本件の取り扱いについて、各会派会長会議で協議後、選挙方法等について改めて相談することを了承。

- ⑦ 冷害対策特別委員会の審議状況について、調査終了した旨報告。本件については、2月24日の本会議において委員長報告の後、議決する扱いとすることに決定。

常任委員会

総務委員会

○1月12日(木) 午後1時29分、第5委員会室
において開議、午後1時32分
散会
委員長 川口 常人(自民)

一般議事

- ① 委員長から、昭和59年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、さきに実施した道外の行財政事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○2月6日(月) 午後1時30分、第5委員会室
において開議、午後1時50分
散会
委員長 川口 常人(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年度国費予算に関する中央折衝の概要について、口頭により報告。
- ② 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、昭和59年度国費関係予算について説明。
- ③ 委員長から、北海道自然環境保全審議会委員候補者に委員長及び副委員長を選出することをはかり、異議なく決定。
- ④ 小野秀夫委員(道政)から、茨城県大洗港と北海道を結ぶカーフェリー航路の開設問題に関し、道の方針決定後における働きかけ、要請活動を通じての感触並びに見通しについての道の認識、室蘭地域の経済情勢に対する部長の認識、室蘭と大洗港間フェリー航路実現に対する部長の所信、海運行政に道の方針を組み入れることについて
質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁。

厚生委員会

○1月12日(木) 午後2時13分、第9委員会室
において開議、午後2時59分
散会
委員長 星野 健三(社会)

一般議事

- ① 委員長から、道外における厚生事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期は2月7日から4日間、派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ② 大橋晃委員(共産)から、老人保健法の保健事業実施に関し、国が設定している事業内容の概略及び58年度実施事業の実態、健康教育、健康相談の対象人員に対する実施率及び回数、健康診査の対象人員及び受診率、老人福祉法に基づく健康診査と老人保健法の健康診査の内容的な相違点、全道の実施機関の検診方法及び料金の市町村の肩代り状況の実態、市町村の独自の保健事業水準低下防止努力に対する評価、老人保健事業計画策定要綱の設定目標の内容及び目標達成に必要な保健婦数並びに充足見通しの考え、同要綱の策定見通し、受診率を向上させるための援助の考え、健康診査に胸部X線写真を加え一定の助成をする考え、退院三箇月経過の在宅患者の訪問指導を促進する考えについて
質疑、意見及び要望があり衛生部長から答弁。

○2月6日(月) 午後1時15分、第9委員会室
において開議、午後1時54分
散会
委員長 星野 健三(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年度国費関係予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告、異議なく了承。
- ② 民生部長及び衛生部長から、所管の国費予算の概要について説明。
- ③ 大橋晃委員(共産)から、(1)重度障害者に対するタクシー料金の補助事業に関し、補助要綱の概要、道内市町村の具体的な実施状

況、都道府県レベルでのこの事業に対する対応状況、他府県の補助期間の状況、3年間の期限を設けた理由、市町村の補助金の支出状況、この事業継続の考え及び内容の充実方、(2)精神障害者回復者クラブの問題に関し、回復者クラブの道内の状況、同連合会の設置に対し精神障害者の社会復帰という観点からの評価、家族会と回復者クラブとの関係、回復者クラブに対する援助の考え方及び見通しについて

質疑、意見及び要望があり民生部長及び衛生部長から答弁。

商工労働委員会

○1月12日(木) 午後1時41分、第8委員会室
において開議、午後1時52分
散会
委員長 湯本 芳志(社会)

一般議事

- ① 商工観光部長から、昭和58年度上期における本道の観光客入り込み調査概要について説明。
- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から昭和59年度北海道開発関係予算の概要について説明。
- ③ 委員長から、昭和59年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、道外の商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○2月6日(月) 午後1時15分、第8委員会室
において開議、午後1時26分
散会
委員長 湯本 芳志(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年度国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。

- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、昭和59年度北海道開発関係予算について説明。

農務委員会

○1月12日(木) 午後1時41分、第7委員会室
において開議、午後2時20分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

一般議事

- ① 委員長から、昭和59年度国費予算に関する中央折衝並びに道外における農業事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 農務部長から、第三期対策の支庁別転作等目標面積及び事前売渡申込限度数量の配分等について報告の後、

吉野之雄委員(社会)から、他用途米の目標面積の配分に関し、目標と割当の認識、他用途米の生産と米の輸入化問題等、的確な伝達及び指導について
質疑があり、農務部長から答弁。

三沢道男委員(社会)から、畜産振興審議会委員の副知事から知事への交替、農協検査のあり方、農協経営の実態把握、的確な行政指導等について
質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

○2月6日(月) 午後1時22分、第7委員会室
において開議、午後1時32分
散会
委員長 寺崎 政朝(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年度国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。
- ② 農務部長から、昭和59年度農業関係国費予算の概要について報告。

建設委員会

○1月12日(木) 午後1時36分、第4委員会室
において開議、午後1時43分
散会
委員長 古川 靖晃(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道外における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、昭和59年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 土木部長から、北海道スパイクタイヤ使用自粛指導に関する実施要綱について説明。

○2月6日(月) 午後1時22分、第4委員会室
において開議、午後1時39分
散会
委員長 古川 靖晃(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年度国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和59年度北海道開発関係予算の概要について説明。

農地開発委員会

○1月12日(木) 午後1時7分、第3委員会室
において開議、午後1時18分
散会
委員長 中川 隆之(道政)

一般議事

- ① 農地開発部長から、障害防止事業の移管について説明。
- ② 委員長から、昭和59年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに道外の農業基盤整備事業の事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

水産委員会

○1月12日(木) 午後1時39分、第6委員会室
において開議、午後1時55分
散会
委員長 中崎 昭一(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、昭和59年度国費予算について説明。
- ② 委員長から、昭和59年度国費予算に関する中央折衝並びに道外調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 酒井芳秀委員(自民)から、ソ連貨物船による原木流出事故に関し、事故の状況及び対応、補償問題について質疑があり、水産部長から答弁。

文教林務委員会

○1月12日(木) 午後1時20分、第10委員会室
において開議、午後1時21分
散会
委員長 岩田 徳弥(自民)

一般議事

- 委員長から、さきに実施した道外における文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○2月6日(月) 午後1時25分、第10委員会室
において開議、午後2時35分
散会
委員長 岩田 徳弥(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和59年度国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。
- ② 委員長、林務部長及び学事課長から、昭和59年度文教林務関係国費予算の概要について報告書により説明。
- ③ 伊藤弘委員(自民)から、(1)昭和59年度公立高校入学者出願状況に関し、募集人員、出

願者数、競争率、全日制の学科別出願状況の特徴、新設校の出願状況、推薦出願者数の状況及び推薦枠を超えた学科数、推薦出願者のうち合格内定とならなかった生徒の出願状況、学区外就学の状況、(2)高校の中途退学者問題に関し、道内の推移と退学の主な理由、私立学校の中途退学者の状況、学科別・男女別の退学者数、全国的な傾向と北海道の状況、減少のための取り組み状況、中途退学者に対する道教委の今後の取り組みと決意について
質疑及び意見があり、教育長及び学事課長から答弁。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- 2月6日(月) 午後2時47分、第1委員会室において開議、午後2時59分散会
委員長 笹浪 幸男(自民)
- 開発調整部長から、昭和59年度北海道開発関係予算について説明。

石炭対策特別委員会

- 1月12日(木) 午後2時54分、第11委員会室において開議、午後3時40分散会
委員長 伊藤 豪(自民)
- ① 委員長から、武部勤委員(自民)の辞職に伴い、青山正男委員(自民)が補充選任された旨を報告。
 - ② 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
 - ③ 委員長から、さきを実施した石炭対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
 - ④ 商工観光部長から、昭和59年度国費予算要求の概要について説明。
 - ⑤ 委員長から、道外における石炭鉱業振興状況調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
 - ⑥ 一野坪勉委員(社会)から、幌内線・歌志内線の貨物割引料金の廃止に関し、関係炭鉱への口頭通告に係わって正式提案と実施時期等、幌内、空知の両炭鉱への影響・撤回の要請方
(関連して、藤井虎雄委員(社会)から廃止についての対処方について)
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

北方領土対策特別委員会

○1月12日(木) 午後3時10分、第3委員会室
において開議、午後3時22分
散会

委員長 野村 權作(自民)

① 領対本部長から「北方領土の日」啓発事業
について報告の後、

伊藤武一委員(公明)から、北方領土の啓
発事業に関し、領土返還要求署名者数、ソ連
に対する署名の効果についての見解、自治体
外交に対する知事の取り組みについて
質疑があり、領対本部長から答弁。

② 領対本部長から、総理府総務長官の北方領
土の視察について報告の後、

委員長から、本件に対する委員の派遣につ
いてはかり、異議なく決定。派遣委員等につ
いては、委員長に一任することとした。

② 委員長から、理事会において取りまとめた
配付の「今後推進すべき事項」を委員長報告
文に挿入することをはかり、異議なく決定。

③ 委員長から、本委員会の調査終了について
はかり、異議なく決定。委員会調査報告書等
については、委員長に一任することとした。

④ 知事及び委員長から、本委員会の閉会に当
ってのあいさつがあった。

公害対策特別委員会

○2月6日(月) 午後2時56分、第2委員会室
において開議、午後3時散会
委員長 佐々木行雄(自民)

① 委員長から、北海道公害対策審議会委員の
推せんについてはかり、佐々木行雄委員長
(自民)及び吉野之雄副委員長(社会)を異
議なく選出。

② 委員長から、さきを実施した道外調査の概
要について報告書により報告、異議なく了
承。

冷害対策特別委員会

○2月6日(月) 午後3時12分、第1委員会室
において開議、午後3時28分
閉会

委員長 大平 秀雄(自民)

① 農務部長、総務部長、商工観光部長、民生
部長及び教育庁管理部長から、昭和58年冷害
に係る対策措置状況について報告。



全国都道府県議会議長会

○1月27日（金） 全議会議室において役員会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、昭和59年度本会予算案について、全議事務総長の説明のとおり、臨時総会に提出することに決定の後、臨時総会の日程について、全議事務総長の説明のとおり了承。次いで、会長から、国体協賛の都道府県議会議員野球大会についての改正、国体開催県の経費負担軽減のため、参加負担金引き上げの改正案についての説明があり、異議なく原案のとおり決定。次いで、全議事務総長から、昭和59年度政府予算編成に対する本会の要望運動経過並びに地方財政対策を中心とした予算措置等について説明の後、引き続き、標準都道府県議会会議規則、同標準傍聴規則の改正について、改正案の内容説明の後、原案のとおり決定した。次いで、会長から、来る、2月7日開催の北方領土返還要求大会へ積極的に出席されたい旨の発言の後、本会あっせんの海外視察団の派遣状況等の説明の後、閉会した。

○1月27日（金） 都道府県会館において臨時総会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつに引き続き、来賓の自治大臣からあいさつがあった。次いで、協議に入り、昭和59年度本会予算について、会長及び全議事務総長から説明の後、原案のとおり決定した。次いで、全議事務総長から昭和59年度政府予算編成に対する本会の要望運動経過並びに地方財政対策を中心とした予算措置等について説明の後、閉会した。

都道府県議会議員共済会

○1月27日（金） 全国議長会会長室において理事会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、代議員会の運営、昭和

59年度事業計画及び予算案（明年度の掛金、負担金（事務負担金も含む）及び標準報酬月額等は現行どおり据え置き予算編成）等について協議、原案のとおり了承し、代議員会に提出することとし、閉会した。

○1月27日（金） 都道府県会館本館において代議員会を開催。会長（兵庫県議長）のあいさつに引き続き、議事に入り、全議事務総長から、昭和59年度事業計画及び予算案について説明の後、異議なく原案のとおり承認した。

10都道府県議会議長会（第126回）

○2月6日（月） 兵庫県神戸市において開催。地元兵庫県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、協議に入り、まず、福岡県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議決定した。次いで、次回開催地を静岡県に決定して、閉会した。

- 1 私立学校助成の充実について（東京都提出）
- 2 私学助成について（神奈川県提出）
- 3 シルバー人材センター制度の充実について（静岡県提出）
- 4 痴呆性老人対策の充実強化について（愛知県提出）
- 5 水質保全対策の充実について（京都府提出）
- 6 交通事故防止対策の強化について（広島県提出）
- 7 旧軍人軍属恩給欠格者の処遇改善（福岡県提出）
- 8 社会資本の整備充実について（兵庫県提出）

資 料

提出案件の処理状況 …昭和58年中（第1回臨時会以降）…

知事提出案件

定例 の別 臨時	提出件数					処理状況							
	条例案	予算	その他の議案	報告	計	原案可決	同意決	承認決	認定決	意見を付し 認定決	報告 のみ	継続 審査	計
1 臨	—	—	34	2	36	32	2	1	—	—	1	—	36
2 定	7	8	25	32	72	35	5	—	—	—	25	7	72
3 定	4	4	20	4(7)	32(7)	25	3	1	(4)	(3)	3	—	32(7)
4 定	7	15	14	7	43	34	2	1	—	—	5	1	43
合計	18	27	93	45(7)	183(7)	126	12	3	(4)	(3)	34	8	183(7)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

議員提出案件

定例 の別 臨時	提出件数				処理状況	
	決議案	会議案	意見案	計	原案可決	計
1 臨	4	1	1	6	6	6
2 定	—	—	7	7	7	7
3 定	1	—	7	8	8	8
4 定	—	—	—	—	—	—
合計	5	1	15	21	21	21

請願及び陳情の処理状況 …昭和58年中（第2回定例会以降）…

定例 の別 臨時	請 願					陳 情				
	受理件数	採 択	議決不要	継続審査	計	受理件数	採 択	継続審査	計	
2 定	19	1	1	17	19	2	—	2	2	
3 定	3	—	—	20	20	6	2	6	8	
4 定	2	—	—	22	22	2	—	8	8	
合計	24	1	1			10	2			

注 継続審査及び計欄の数値は、前会から継続審査中のものであって更に継続審査の決定をされたものを含む。

議員提出案件の件名及び処理結果一覧 …昭和58年中（第1回臨時会以降）…

会 議 案

定例 の別 臨時	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
1 臨	5. 13	1	北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案	藤井 猛議員 ほか14人	5. 13	原 案 可 決	各派代表者

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

決 議 案

定例 の別 臨時	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
1 臨	5. 17	1	総合開発調査特別委員会設置に関する決議	藤井 猛議員 ほか14人	5. 17	原 案 可 決	各派代表者
	同	2	石炭対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同	同
	同	3	北方領土対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同	同
	同	4	公害対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同	同
3 定	10. 11	1	冷害対策特別委員会設置に関する決議	平野明彦議員 ほか12人	10. 11	同	議会運営

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

意 見 案

定例 の別 臨時	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
1 臨	5. 17	1	夕張新炭鉱再建に関する要望意見書	伊藤 豪議員 ほか14人	5. 17	原 案 可 決	石炭対策特別
2 定	6. 29	1	昭和58年産生産者米価等に関する要望意見書	寺崎政朝議員 ほか13人	6. 29	同	農 務
	7. 25	2	水田利用再編第3期対策に関する要望意見書	同	7. 25	同	同
		3	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書	佐藤静雄議員 ほか12人	同	同	水 産
		4	北方領土問題等の解決促進に関する要望意見書	野村権作議員 ほか12人	同	同	北方領土 対策特別
		5	国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める要望意見書	川口常人議員 ほか13人	同	同	総 務

定例 の別 臨時	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果	備 考
2 定	7. 25	6	石炭鉱業及び産炭地域振興対策に関する要望 意見書	伊藤 豪議員 ほか14人	7. 25	原 案 決	石 炭 対 策 特 別
		7	夕張地域振興対策に関する要望意見書	同	同	同	同
3 定	9. 28	1	大韓航空機撃墜事件に関する要望意見書	平野明彦議員 ほか14人	9. 28	同	議 会 運 営
		2	昭和58年産畑作物価格等に関する要望意見書	寺崎政朝議員 ほか13人	同	同	農 務
	10. 22	3	「テクノポリス函館」の開発計画の承認に 関する要望意見書	湯本芳志議員 ほか13人	10. 22	同	商 工 労 働
		4	泰東丸の確認調査と遺骨収集に関する要望 意見書	星野健三議員 ほか12人	同	同	厚 生
		5	医療保険制度改正案に関する要望意見書	同	同	同	同
		6	昭和58年冷害対策に関する要望意見書	大平秀雄議員 ほか26人	同	同	冷 害 対 策 特 別
		7	冬期間の暖房代実費である「燃料手当（寒冷 地手当）」を非課税扱いとする要望意見書	川口常人議員 ほか13人	同	同	総 務

注 備考欄は提出者の所属委員会等を示す。

請願・陳情の件名及び処理経過一覧 …昭和58年中（第1回臨時会以降）…

請 願

(継審＝継続審査)

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
1	第21回北海道漁業協同組合長会議に関する件	北海道指導漁業協同組合 連合会 会長 長崎 勝利	58. 6. 1	58. 6. 29	水 産	2 定採択 3 定継審 4 定継審
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	北海道弓道連盟連合会 会長 長谷川 謙	58. 6. 21	58. 6. 29	文教林務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同	58. 6. 21	58. 6. 29	同	2 定継審 3 定継審 4 定継審
4	食品添加物の使用規則を強化し、消費者本位の食品衛生行政を求める件	北海道生活協同組合連合会 代表者 会長理事 岡田義雄 ほか4人	58. 6. 25	58. 6. 29	厚 生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
5	北海道を核戦場にさせないための件	新日本婦人の会 北海道本部 会長 渡辺 昌子	58. 7. 4	58. 7. 8	総 務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	厚 生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	文教林務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同	58. 7. 4	58. 7. 8	商工労働	2 定継審 3 定継審 4 定継審
9	同	同	58. 7. 4	58. 7. 8	厚 生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
10	住居地域内におけるパチンコ店建設に反対の件	東区元町4区町内会 会長代行 富樫 捨吉 ほか1人	58. 7. 5	58. 7. 8	総 務	2 定議決不要 3 定議決不要 4 定議決不要
11	食品添加物の規則緩和に反対する件	日本婦人会議北海道本部 議長 香取 柳子	58. 7. 6	58. 7. 9	厚 生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
12	登別市に警察署設置の件	登別市長 中浜元三郎	58. 7. 8	58. 7. 12	総 務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	全日農北海道連合会 委員長 菅原 朝喜	58. 7. 16	58. 7. 20	農 務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
14	平和に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	58. 7. 20	58. 7. 23	総 務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	北海道高齢者退職者の会 連合会 会長 改発 治幸	58. 7. 20	58. 7. 23	厚 生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
16	老人医療に関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	58. 7. 20	58. 7. 23	同	2 定継審 3 定継審 4 定継審
17	灯油値下げに関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	商工労働	2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 経 過
18	灯油値下げに関する件	北海道主婦会連絡協議会 会長 一戸 キヨ	58. 7. 20	58. 7. 23	厚生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
19	公立高校の増設等に関する件	同	58. 7. 20	58. 7. 23	文教林務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
20	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件	全日本国立医療労働組合 北海道地方協議会 議長 八田 克弘	58. 7. 26	58. 9. 28	厚生	3 定継審 4 定継審
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬制度）」の適用に関する件	富良野地青色申告会連合会 会長 竹本 清作	58. 8. 18	58. 9. 28	総務	3 定継審 4 定継審
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	障害者の生活と権利を守る 北海道連絡協議会 会長 三浦 彌	58. 9. 19	58. 9. 28	総務	3 定継審 4 定継審
23	（仮称）「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	空知生活と健康を守る会 滝川支部障害児をもつ母 親部会 代表 宮本三代子	58. 12. 7	58. 12. 15	文教林務	4 定継審
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	北海道私学助成をすすめる会 代表 亀貝 一義 ほか1人	58. 12. 23	58. 12. 26	同	4 定継審

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 経 過
1	鹿部村の町制施行の件	茅部郡鹿部村長 川村 秀次 ほか1人	58. 6. 25	58. 6. 29	総務	2 定継審 3 定採択
2	社会福祉法人釧路まわりも学園の運営に関する件	釧路市南浜町 9 番34号 亀岡 鶴雄	58. 7. 16	58. 7. 20	厚生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	「軍事費を削り、くらしと福祉・教育の充実を」 国民大運動北海道実行委 員会 代表 斉藤 敏夫	58. 9. 27	58. 10. 4	商工労働	3 定継審 4 定継審
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同	58. 9. 27	58. 10. 4	厚生	3 定継審 4 定継審
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同	58. 9. 27	58. 10. 4	同	3 定継審 4 定継審
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	同	58. 9. 27	58. 10. 4	総務	3 定継審 4 定継審
7	指名競争入札執行の自粛の件	札幌市豊平区平岸1の2 の6の201号 武田 芳郎	58. 10. 3	58. 10. 11	同	3 定継審 4 定継審
8	冬期間の暖房代実費である「燃料手当」の非課税扱いを要望する件	北海道中小企業家同友会 代表理事 井上 良次	58. 10. 12	58. 10. 15	同	3 定採択
9	軍人・軍属恩給欠格者の早期救済に関する件	全国軍人軍属恩給欠格者 連盟北海道連合会 代表 渡部 輝久	58. 10. 20	58. 12. 15	厚生	4 定継審
10	一級河川十勝川水系札内川第2札内橋架橋促進に関する件	中川郡幕別町本町第2札 内橋架橋促進 幕別町期成会長 斉藤 正美	58. 11. 4	58. 12. 15	建設	4 定継審

1 月 の メ モ

- 1日 ○ボルネオ島北部の英自治領ブルネイが96年にわたる英国の統治に終止符を打ち、完全独立。初代首相にボルキア首長が就任。
- 4日 ○今年の主要先進国首脳会議（サミット）が6月7日から9日まで、ロンドンで開催することに決まる。
- 6日 ○大蔵省は、物品税の課税対象に今年10月から新たに事務機器、ミニバイクなど約30品目を加え、酒税についても間接税増税案を、自民党税制調査会に提示した。
- 10日 ○政府が、閣僚の資産公開についての実施基準を決める。
- 12日 ○政府は実質、名目経済成長率をそれぞれ4.1%、5.9%、経常収支の黒字幅を約230億ドルとする政府経済見通しを内定した。
- 13日 ○厚生省が、水銀電池の公害防止のため、業界などが店頭に戻収箱を置くなど官民一体の対策決める。
- 米価審議会は、消費者米価を2月15日から3.8%引き上げる政府諮問を認める答申を山村農水相に提出した。
- 14日 ○韓国・釜山で観光ホテル火災があり、日本人3人を含む38人が死亡、76人が重軽傷。
- 18日 ○世界ボクシング評議会（WBC）世界フライ級チャンピオンのフランク・セデノ（フィリピン）と小林光二の世界タイトルマッチは、小林がKOでチャンピオンを破り王座につく。
- 19日 ○政府は「59年度の経済見通しと経済運営の基本的態度」の中で、実質成長率を4.1%と4年ぶりに4%台に回復するという見通しを決めた。物価上昇率は卸売物価を1.0%、消費者物価2.8%としている。
- 発達した低気圧が太平洋岸に沿って東に進み、九州から近畿、関東に次々と大雪をもたらした。東京ではの22cmの積雪を記録、44年3月以来、15年ぶり的大雪。
- 空陸の交通網は各地で大混乱した。
- 20日 ○大蔵省は、一般会計総額50兆6,272億円（前年度比0.5%増）の来年度予算大蔵原案を内示した。
- 22日 ○大相撲初場所で、4場所連続の千秋楽相星決戦で、隆の里が千代の富士を破り、2場所ぶりに優勝。
- 23日 ○日本初の実用放送衛星BS-12aが、宇宙開発事業団種子島宇宙センターから、国産のN-II型ロケット5号機で打ち上げられ、愛称「ゆり2号a」と命名された。
- 24日 ○中曽根内閣の全閣僚が実施基準に従って一斉に資産を公開した。
- 法制審議会が国籍法部会が、国籍法の全面改正要綱案決める。現在の父系血統主義を父母両系主義に改める、など。
- 25日 ○政府は臨時閣議で、59年度から取り組む行政改革について、「行政改革に関する当面の実施方針」を決めた。
- 政府は一般会計総額50兆6,272億円の59年度予算政府案を決定した。
- レーガン米大統領が、84年一般教書演説。
- 26日 ○天皇、皇后両陛下が、結婚60年のダイヤモンド婚式を迎えられる。
- 27日 ○米商務省の発表によれば、1983年の米国の対日貿易赤字は216億6,460万ドルと、初めて200億ドルを突破した。また米国全体の貿易赤字も693億9,240万ドルで、史上最大を記録した。
- 29日 ○郵政省が電電公社を日本電信電話株式会社に改組する改革法案の骨格固める。
- レーガン大統領は全米向けテレビ演説で、今秋の大統領選挙にブッシュ副大統領とのコンビで再出馬することを正式に表明した。
- '84大阪女子マラソンで、増田明美(20)が2位に入賞、ロサンゼルス五輪行きを確実にした。
- 31日 ○大蔵省が発表した昨年の国際収支状況（速報）によると、経常収支は210億2,400万ドル、貿易収支316億4,900万ドルで、ともに史上最高の黒字となる。

2月のメモ

- 1日 ○レーガン米大統領が、1985会計年度（今年10月～来年9月）の予算教書を発表した。国防関係費は突出の9.4%増。
- 3日 ○国鉄は、旅客平均で8.2%の運賃・料金の値上げ案の認可を運輸大臣に申請。旅客の全国一律運賃を撤廃し、東京・大阪圏の国電、一般幹線（新幹線を含む）、ローカル線の3グループで格差をつける初の地域別運賃制を導入したのが特徴で、貨物、荷物も含めた総平均アップ率は7.8%。実施は4月20日の予定。
- 米カリフォルニア大ハーバー医療センターのジョン・バスター博士を中心とする研究チームが「受精卵移植」による世界で初めての出産（男児）成功例を発表した。
- 5日 ○大阪空港の騒音訴訟で原告側が13億円の和解案をのみ14年ぶりに全面解決する。
- 7日 ○米のスペースシャトル・チャレンジャーの船外で、飛行士2人が史上初の命綱なしの宇宙遊泳に成功した。
- 8日 ○第14回冬季五輪がユーゴの古都サラエボで開幕、参加49か国、選手1,501人で史上最大の規模となる。
- スピードスケート男子500メートルで北沢欣浩選手（法大）が二位に入り、スケート史上初の銀メダルを獲得した（10日）。
- 9日 ○PCB混入による食品公害「カネミ油症訴訟」で福岡高裁から和解勧告を受けた国側は、勧告拒否を同高裁に回答した。
- ソ連共産党書記長ユーリ・アンドロポフが69歳で病死した。書記長在任期間は僅か1年3か月。
- 12日 ○登山家植村直己さんは北米大陸の最高峰マッキンリー（6,194メートル）に、世界最初の冬季単独登頂として成功。
- 13日 ○ソ連の故アンドロポフ共産党書記長の国葬葬儀委員長を務めたチェルネンコ政治局員が、共産党中央委総会で書記長に選ばれた。
- 14日 ○58年の機械受注総額は14兆178億円で前年比0.9%減となり、2年連続で前年を下回った。
- 17日 ○電機労連が、ロボット導入の際の労使事前協議制などを盛り込んだマイクロエレクトロニクス（ME）ガイドラインを決定。
- 20日 ○労働大臣の諮問機関の婦人少年問題審議会婦人労働部会は、女子の深夜労働の禁止などを原則的に廃止する方向を打ち出した3人の公益委員による試案を発表した。
- 22日 ○通産省が発表した58年鉱工業生産動向によれば、鉱工業生産は前年比3.6%増加し、ようやく本格的な回復に転じた。
- 社会保険審議会は、サラリーマン本人に自分の医療費の1割を負担させることなどを中心とする政府の医療保険制度改革案を賛否両論併記で厚生大臣に答申した。
- 23日 ○電電公社、日電、日立、富士通4社が、世界で初めて1メガ・ビットの超LSI開発に成功したと発表。
- 24日 ○第1回定例道議会開会
- 25日 ○中国孤児の第5次訪日団50人が来日。
- 27日 ○陸上自衛隊山口駐屯地屋内射撃場で訓練中の兼信雄一（二等陸士）が同僚隊員に小銃を乱射、1人死亡、3人に重軽傷を負わせた。自衛隊員が乱射事件を起こし、死傷者が出たのは初めてである。
- 28日 ○三重県津市の子供会ハイキングの児童水死事故をめぐる、女性引率者のボランティアが刑事責任を問われた事件の控訴審で、名古屋高裁は、1審有罪判決を破棄、逆転無罪を言い渡した。
- 29日 ○総理府の家計調査報告によると、昨年1年間の家計の消費支出は、実質で前年比0.6%増にとどまった。
- カメラ、スポーツ用品の名門商社、大沢商会在東京地方裁判所に会社更生法の適用を申請、事実上倒産した。負債総額は1,250億円で戦後3番目の大型倒産である。

北海道議会時報 昭和59年第1号
昭和59年3月27日発行(通巻第36巻第1号)

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第36巻第1号(昭和59年)